授業概要

幼児教育及び初等教育の指導者をめざす者として理解しておくべき音楽に関する基礎的な内容について講義する。具体的には、基礎的な楽典、オーケストラで使われる楽器及び日本の伝統的な楽器、日本と西洋の音楽史を主なものとする。楽譜の理解に関わることとして、リズム打ちや視唱の演習も行う。

授業計画

第1回	ガイダンス
第2回	基礎的な楽典 リズム1 (3拍子・4拍子)
第3回	基礎的な楽典 リズム2 (6拍子)
第4回	基礎的な楽典 音程 音階
第5回	基礎的な楽典 記号
第6回	小テスト1
第7回	オーケストラで使われる楽器 弦楽器
第8回	オーケストラで使われる楽器 管楽器
第9回	オーケストラで使われる楽器 打楽器
第10回	日本及び世界の音楽で使われる楽器
第11回	小テスト2
第12回	音楽の歴史1 中世～バロック グループワーク
第13回	音楽の歴史2 古典派～ロマン派 グループワーク
第14回	音楽の歴史3 日本音楽の歴史 グループワーク
第15回	グループ課題発表
第16回	筆記試験

到達目標

基礎的な楽典の事項を理解し、読譜力をつける。
オーケストラで使われる楽器、日本及び世界の諸民族の音楽で使われる楽器を知る。
日本と西洋の音楽の歴史について概観をつかむ。

履修上の注意

受講希望者が多い時は、小免希望者を優先とする。

予習復習

特に楽典に関わること及び授業内容の復習をしっかりとすること。

評価方法

筆記試験 70%、小テスト 30%、提出物により総合的に評価する。

テキスト

必要な資料を随時配布